

事業報告書

(自 平成26年9月3日 至 平成27年6月30日)

定款第3条に基づき、補体研究・調査、講演会・ワークショップなどの開催、機関誌・図書の発行などを行った。

I. 学術集会、講演会等の開催

特になし

II. 学会機関誌その他の刊行物の発行

1. 学会誌「補体」第51巻 第2号を平成26年12月22日に発行。
2. 法人化にあたり平成27年1月28日に一般社団法人日本補体学会として新たにホームページを構築し、公開。

III. 研究の奨励及び研究業績の表彰

特になし

IV. 関連学術団体との連絡及び協力

1. 「日本学術会議協力学術研究団体」指定への申請を行い、hearing一回を経て、平成27年7月24日付けで、指定（府日学第1246号）を受ける。

V. 補体関連疾患の診断指針の作成と検査法向上の推進

1. HAEのガイドラインを「遺伝性血管浮腫(HAE)ガイドライン 改訂2014年版」Vor3 にすることを理事会で議決。
2. 日本補体学会による今後の補体検査システム構築計画に関し、「研究計画書」を検討した。
3. 研究課題「新しい補体検査システムの構築による補体関連疾患の包括的登録と治療指針確立への展開」を策定し、理事会で議決。
4. 補体検査全般の検査体制を充実させるためアレクシオン社と受委託契約を締結。
5. 補体検査全般の検査体制を施行するためファルコバイオシステム社と受委託契約を締結。
6. 補体検査全般の検査体制を充実させるためCSLベアリング社と受委託契約について検討中。
7. 大阪大学の未来医療開発部データセンターとコンソーシアム型共同研究契約を締結。

VI. 国際的な研究協力の推進

1. 平成26年9月12日～9月20日までブラジルで行われていた国際学会 XXV International Complement Workshop 2014に参加し、ICW2016Kanazawaの紹介と情報収集。
2. 平成27年6月27日～6月30日までスウェーデンで行われていた国際学会 15th European Meeting Complement in Human Diseaseに参加し、ICW2016Kanazawaの紹介と情報収集。

VII. 会議

1. 理事会を平成26年9月から平成27年6月まで7回開催した。

VIII. その他

1. 平成26年9月3日に登記申請が完了し一般社団法人日本補体学会となる。
2. 平成26年11月11日の通常理事会にて会計に関する規定を定め、財務委員会の設立、堀内孝彦氏を財務委員長に選出